

令和5年度 寺井小学校 グランドデザイン

新学習指導要領 豊かな人間性・自ら学び考える力などの「生きる力」
石川県がめざす教育の姿 未来を拓く 心豊かな人づくり
能美市がめざす児童の姿 魅力ある学校づくり「元気で明るく笑顔で登校」
進んで学ぶ人 感謝と思いやりの心をもつ人 たくましい心と体をもつ人

保護者の願い
○元気に学校に通ってほしい
○確かな学力をつけてほしい

地域の願い
○元気に学校に通ってほしい
○思いやりの心が育ってほしい
○ふるさと愛を育てほしい

学校教育の目的 自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働して、目の前の出来事を楽しみ、生涯にわたって能動的に学び続ける力をすべての子どもに育成する

R5 重点 言語能力を高める
～全ての教育活動を通して～

みんなが「幸せ」な学校
～たいが泳ぐ心～

学校教育目標 自分の考えを伝える子 よさを見つける子

知

- ・授業改善
- ・「生きて働く知識・及び技能」の育成

- ①カリキュラムマネジメントの視点を持ち、学んだことを生かす場を総合・生活科で設定し、教科でつなげる力を明確にした授業研究に取り組む。
- ②指導の個別化と学習の個性化による「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現をめざして単元構想を工夫し、児童に資質・能力を育成する。
- ③全教育活動を通して、児童の言語能力を高める。
- ④教師の問い返し力を高める。

①笑顔で子どもに接し、共感力が高い教師 ②変化を前向きに受け止め学び続ける教師
③一人一人の学びを最大限に引き出し、子どもの主体的な学びを支援し伴走する教師

徳

- ・大事にされている実感がある学級づくり

- ①生徒指導の4つの視点が働く授業実践を行い、子どもが安心して学級で過ごすことができるようにする。
- ②学級に「いる」ことを肯定し、自分で決めたことをやり遂げ（自己達成感）、難しいことにもチャレンジし（自己有用感）、誰かの役に立ったり誰かに喜んでもらえたり（自己有用感）する授業、場の工夫・設定を行う。

体

- ・健やかな心と身体の育成

- ①自分の生活を整え、自分の命・健康を自分で守る力をつける取り組みを行う
- ②デジタル・シティズンシップ教育の充実を図る。
- ③運動の楽しさや喜びを味わい、考えたり工夫したりしながら、運動の課題を解決する体育科の授業を行う。

- ・組織力で学校力を高める

- ①情報共有・報告・連絡・相談を適切に行う体制をつくり、安全・安心な学校づくりをする。
- ②学年会・チーム会でのコミュニケーション充実を図り、「言語能力を高める」「自分の考えを伝える子」「よさを見つける」「みんなが幸せな学校～たいが泳ぐ心～」を常に意識して日々の教育活動を行いつつ、業務改善と業務の平準化を図る。

- ・家庭・地域との連携

- ①「学校力」向上のために、学校運営協議会を充実させ、地域や保護者の力を今以上にいかして教育活動を行う。
- ②学校のことをよく知ってもらうために、情報発信に努める。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

《育友会事業》
生活指導委員会
教養委員会
会報委員会
学級委員会

- 温かい居場所
- 基本的な生活習慣
- 「あなたは宝物」

地域と学校が一体となって役割分担しながら、みんなが「幸せ」な学校づくりをめざす

- 家庭・地域との積極的な情報共有を図り、子ども達の健やかな成長を育む
- 基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化を図る
- 学校評価を通して開かれた学校づくりに努める。

《各町内会の取り組み》子ども会 祭り 奉仕活動等